

地域の皆さんに支えられて健康友の会みみはらは、2024年11月17日 40周年を迎えます

「友の会の40年を振り返り、未来を展望する」(仮) <第2回>

「耳原友の会」は発足後、会員を増やし、10年目の1993年には1万人を超える規模になりました。1995年には、東西支部（5391人）、鳳支部（2867人）、南花田支部（824人）、高石支部（615人）、その他（4383人）が設立します。現在26の支部の始まりです。高石支部を基礎に1997年、高石診療所が開設します。

「耳原友の会」結成後

- 1984年11月17日 耳原友の会設立総会（1402世帯）
- 1991年11月 友の会「日曜健診(人間ドック)」開始
- 1995年 東西支部・鳳支部・南花田支部・高石支部設立
- 1997年12月 耳原高石診療所開設



「耳原友の会第6回総会」(1993年)で挨拶をする藤田スミ衆議院議員(当時)



東西支部第1回総会



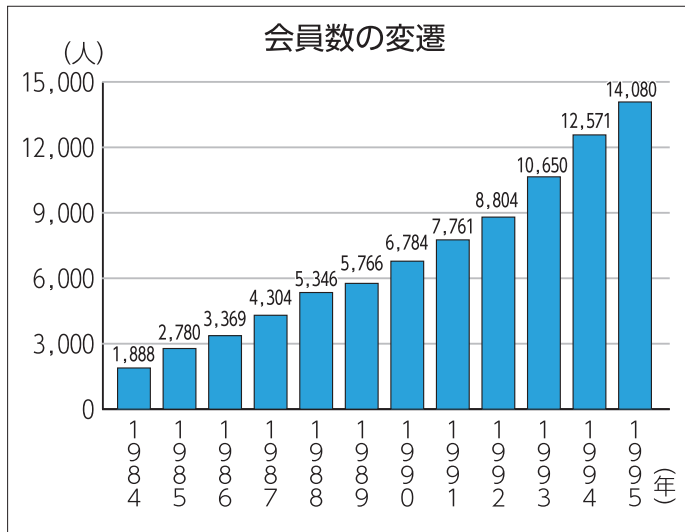
高石支部第1回総会



南花田支部第1回総会



鳳支部第1回総会



健康友の会みみはらでは、2022年度の重点課題として、「フレイル予防」の取組みを行っています。「フレイル」とは、健康な状態と要介護状態の間で、心と身体が弱ってきている状態のことをいいます。

フレイルを放置すると、低栄養や筋肉量の減少(サルコペニア)が起これば、疲れやすくなることで活動量(外出の頻度など)が減少。さら



- 健診内容** ※集団での健診になります
- 第2・4木曜日 (14:00~16:00) 完全予約制
 - 費用: 1000円
 - 内容: 体力・筋肉量測定、食事相談(集団)
- お問い合わせ先
耳原鳳クリニック ☎072-275-0801

フレイル予防のために 健診を受けましょう

健康友の会みみはらでは、2022年度の重点課題として、「フレイル予防」の取組みを行っています。「フレイル」とは、健康な状態と要介護状態の間で、心と身体が弱ってきている状態のことをいいます。

フレイルを放置すると、低栄養や筋肉量の減少(サルコペニア)が起これば、疲れやすくなることで活動量(外出の頻度など)が減少。さら

医療の現場から Vol.20

地域と協働支援できる 心強さを実感

Aさんは心臓疾患で通院されている70代の方です。主治医より、「薬が飲めていない様子なので訪問看護の支援が必要だ」と、相談室に連絡があり、お話を伺うことになりました。

「頭髪やひげは伸び放題で、身なりも清潔とは言いえないけれど、人懐っこい笑顔でお話を聞かせてくれました。昨年、ペースメーカーの植込み手術後、通

に支援者はなく、生活のことはすべて一人で行っていました。訪問看護の利用はできないとのことでした。一人暮らしで近隣の診療所の記入と役所

への申請支援をしたにも関わらず、手帳の受け取りができていなかったことが分かりました。役所に保管されたままだった手帳は、1級(重度障がい)認定なので、医療費助成制度(一回あたり500

院費は一月に5000円かかっています。年金生活で金銭的余裕はなく、訪問看護の利用はできないとのことでした。一人暮らしで近隣の診療所の記入と役所への申請支援をしたにも関わらず、手帳の受け取りができていなかったことが分かりました。役所に保管されたままだった手帳は、1級(重度障がい)認定なので、医療費助成制度(一回あたり500円)の自己負担)の適応でした。地域包括支援センターに相談したところ、手帳発行の手続きと過去に支払った医療費の返金手続きを支援してくれました。数万円が返金となり、そのお金で訪問看護を利用できることになりました。久しぶりに外来でお会いした時のAさんは、散髪してすっきりした風貌になり、「ぱりぱり元気で〜!」と、笑顔で挨拶してくれました。地域と協働支援できる心強さを実感しました。

(鳳クリニック相談室 田中 千賀)